

くらし まもる

安倍政権の暴走ストップ!!

高瀬あつこ



日本共産党

プロフィール

- 1962年(昭37)福野町生まれ 53歳
 - 井波高校、橘女子大卒(現・京都橘大学)
 - 福野町農協、生協コープとやま勤務を経て現在、党高岡市委員会女性部長
 - 趣味はウォーキング、茶道、美術鑑賞
 - 漆器加飾業の夫と長男の3人暮らし
 - 中川本町11-13 県営住宅2-204
- <http://toyama.jcpweb.net/loc-takaoka/page-37>

高瀬あつこの動画も見られるよ



あなたの手で
政治を変えるチャンス

高岡民報

2015年2、3月号外
高岡市内免2-7-13

日本共産党の活動を紹介しします。

一人で悩まず、何でもご相談ください。
ご連絡は……日本共産党事務所
☎23-3281

農作業を手伝い、
農協で働いた **高瀬あつこ**こそ
食の安全、安心を守ります

米価下落を放置する安倍政権、「国と自
民党のいう通りやってきてこの仕打ちか」
と怒りの声が渦巻いています。

そのうえ安倍政権は公約違反のTPP交
渉参加で農業を壊し、農協も邪魔だとつぶ
しにかかっています。「農業所得倍増」な
どと叫んで見せますが、農家の中からは机
の上で考えた「農政改革」で、農業の現場の
ことを一つも知っていないと、厳しい批判の
声が上がっています。

高瀬あつこさんは兼
業農家の長女として、
苗運びや押し植え(補
植)、稲刈りの手伝い、

落穂ひろいなど、家族の農作業を子どもの
ころから手伝っていました。大学卒業後、
福野町農協に就職し、くみあいマーケット
や組合員課で生活指導員の仕事をしてくま
ました。農家の現実も気持ちもよくわかり、
県政へ農家の声を届けるのにもっともふさ
わしい人です。



高岡市でのシンポジウム=2014.11.30

結婚後は生活協同組合で
働き、また生協の地域委員
長として食の安全、安心を
守る大切さを学びました。

毎日の食べ物は人の命と
健康の源です。安全で安心
できる食料は「日本の大地
から」をつらぬく高瀬あつ
こさんです。

安倍政権の「農政改革」は机上の空論

事実を丹念につかみ、
じっくり考えて行動する
高瀬あつこ

消費税増税問題シンポジウム(201
2年4月)で高瀬あつこさんは、ずっと
つけていた家計簿をもとに1年間に払っ
た消費税を拾い出しました。4人家族で
11万9797円(月約1万円)。

「これでもし10%になったらこれが倍
になるわけで、どこを削ろうか、削ると
ころがないけれど食費・教養娯楽費を削
るしかない。家族の健康を守っていくた
めにも消費税アップは困る」と訴え、多
くの参加者の注目を集めました。

高瀬さんは事実を丹念につかみ、よく
考えて訴えるので、多くの市民の皆さん
が信頼していっしょに行動してくるの
ではないでしょうか。だから、信念を
つらぬき、公約を裏切ることが
ないのです。



市民の暮らしに寄りそって

子ども医療費 無料化へ

口説き話を要求に
みんなの力を寄せて

自分の息子さんが小さいころ、よくアトピーやぜんそくになり、「パート代が医者代に消える！」と嘆いていた高瀬あつこさん。

「1歳を過ぎたころからよく風邪をひく」のに、その頃子ども医療費無料だったのはゼロ歳だけでした。自身の思いや、周りのお母さんたちの口説き話を聞くにつけ、高岡市でももっと拡充したいと、お母さんたちと話し合い、署名運動に取り組みました。



高瀬さん（左）が署名を高岡市議会議員に=2011年

水道料金 値下げへ

現実を知って
県、市と繰り返し交渉

「水道料のためにパートしているようだ」井戸端会議でよくこんな口説きが聞かれました。

新日本婦人の会高岡支部の事務局長を引き受けた高瀬あつこさんはみんなで学習会を開き、「高岡の水道料、富山市の2倍だって！」と知って署名運動を取り組み、県、市とも繰り返し交渉し、値下げを実現しました。

住民といっしょに運動

自然の成り行きで改善されたのではなかった
高瀬あつこさんは、
みんなといっしょにがんばってくれる人です

子ども医療費無料の年齢がだんだん上がっていくのは、自然の成り行きだと思っていました。高岡市より先に中学3年生まで無料になっていた射水市がうらやましく、友達も「そこへ引越したいね」と言っていました。

高瀬さんと知り合って、高瀬さんたち新婦人の皆さんが『高岡市でも子ども医療費を中学3年生まで通院も無料に！』と、6千人の署名を集めて高岡市への申し入れたのをきっかけに、中学3年生まで無料になりました。自然の成り行きでなかったのではなかったのです。
高瀬さんをはじめとするたく

さんの先輩お母さん方の努力と行動で年齢が上がっていったこと、何もしなければ何も変わらないうことを知りました。また、高瀬さんは水道料の引き下げにもがんばられたと聞きしました。私は水道料金が市町村で違うことも初めて知りました。水道料を下げることは、市民ではどうにもならないと思っていました。市民の思いが形になるなんて、びっくりでした。
住みやすい町は自分たちでつくる、高瀬さんは皆さんと一緒に頑張ってくれる人です。

大崎恵子

母と子が米軍機墜落事故で犠牲に

高瀬あつこ

平和への思いから、日本共産党へ

「日本史の勉強をしたい」と橘女子大に入学したのは1980年。高瀬さんによると「この大学は女性の自立、自覚的な政治参加を温かく見守ってくれていた」とのこと。そこで茶道部に加わり、うたごえ同好会では地域でうたごえを広げる活動もしました。



赤旗まつりにて=2014年

子どものころから新聞を読むのが嫌いではなかった高瀬さんは、大学に入る少し前、横浜で米軍ジェット機が墜落し、3歳と1歳の幼児とその母が亡くなった

ニュースを知りました。絵本『パパママ・バイバイ』となった事件です。大学に入って友人同士の会話でアメリカの基地が沖縄や首都東京にまであることを知りました。

一見、平和そうに見える日本に、そうではない現実があることを知った高瀬さんは、10.21国際反戦デーの学習会やデモに参加するようになりました。現実を見つめるだけでなく、社会に働きかけねばとの思いから18歳の10月14日、日本共産党に入りました。

安倍政権が「海外で戦争できる国」に向かって暴走しているいま、そんな高瀬さんだからこそ、安倍政権に不安を感じている皆さんの声を政治に届け、暴走にストップをかけるのに、最もふさわしい人です。

思いやりがあり、物事に一所懸命 あっちゃんならやってくれる

あのおとなしいあっちゃんが選挙に出ると聞いてびっくりしたけど、思いやりがあり、まじめで物事に一所懸命に取り組む姿を思いおこすと納得です。

私が子どものころ、周りからからかわれた

とき、かばってくれたことは今でも忘れません。小学校高学年の道徳の時間に、新聞の切り抜きを持ち寄る授業があった時、あっちゃんは「金大中がホテルから拉致された」事件を報告したのに、驚きでした。

あっちゃんならやってくれる、やって欲しいと思っています。

保育園、小・中学校とずっと一緒だった友人

地場産業を大切に 日本の良さを絶やしてはいけない

高瀬あつこさんの義父は漆芸家で、鏝絵の第一人者です。

伝統工芸の町高岡で、先祖から連綿と続いてきた日本のたいせつなものを絶やしてはいけない、日本の良さを生かしたいと強く願っています。



高瀬さん（左から3人目）が政府に要望=1月22日

に上京し、商工業振興の要望を国に届けました。これからも商工業者の切実な願いを、国、県へ届けようと頑張っています。

高瀬あつこの
青春時代

現実と向き合い、
社会に働きかける